

会員企業探訪

Green's Baby 柏井 雅

カフェと
ゲストハウスで
新しい世界に触れる
「場」をつくる



松江城にほど近いGreen's Baby
ドアハンドルの「GB」に遊び心を感じる



1Fのカウンターでオーダーした後は
明るく開放感のある2Fへどうぞ



おすすめ&人気のサラダバイキングは
常時約20種の野菜と自慢のドレッシングが並ぶ



斜め向かいにある
KITATONO
Guest Houseは
懐かしさを覚える、
くつろぎの空間

経営理念

自分がまず楽しむこと。
楽しめないのは
良い流れになっていないということ。

22歳のときインディアンに会うためにアメリカに渡った。行先はアリゾナ、ニューメキシコ。高校時代に読んだネイティブアメリカンについての本がきっかけだった。彼らの生き方、考え方に共感できるものが多いと感じた。東京で美容師として働き、金をつくり渡米。1か月は情報収集にあてインディアンとの親族と知り合いになり、その人の紹介でインディアンが暮らす村に入ることができ、その後2か月ほど彼らと寝食を共にした。

「本で読み想像していたことを実際に体験でき、こんな世界もあるんだと実感しました」と柏井さんは言う。しかし自身は英語があまりできず、原住民も英語は使わないので言葉が通じない。その2か月間は自然の中に身を置きながらひたすら考える日々だったとふりかえる。

「修業みたいな感じです。入り口はネイティブアメリカンでしたが、結局は誰とでもない、自分と向き合うことでした」

この旅で自分はまだ日本のこともろくに知らないという気持ち、帰国してすぐに車を購入。今度は日本全国を一人で旅してまわった。旅することで自分の存在、立ち位置を探した。そして24歳のとき、長い旅を終えて故郷の松江に帰り、実家の農業を手伝いながら、松江に何があつたら面白いと考えた。なぜ自分は田舎にいたくなかったのか。なぜ自分は田舎にいたくなかったのか。それは楽しみ方を教えてくれる

した。30歳になって結婚し、子どもができ、生活のリズムを変えようという気持ちもあつて、「という。夜の店は気に入った人だけに来てもらえたいが、昼で成り立たせようと思うとそうもいかない。普通に生活している人が普通に食べに来なくなる空間にし、いろいろな人たちが混ざり合うことができるようにしたい。間口を広げ入りやすい店にしたいと、雰囲気づくりやメニューに工夫を凝らした。

世界各国の料理が楽しめるランチもそのひとつ。メキシコのタコス、タイのガパオやグリーンカレー、ニューオリンズのガンボ、インドのタンドリーチキンなど柏井さんがかつて旅で食べて美味しかったものがとりどりに並ぶ。新鮮さがうりのサラダバイキングも人気だ。店内の音楽や本なども普通のカフェにありがちなものでなく「なんだ？これ」と手に取ることも新しい世界観が広がるようなものをチョイス。さらに目を引くのは2階の一角に設けられたハンモック。客席としても利用でき、子どもたちに大人気だという。奥には好きなブランドの正規代理店としてハンモック展示販売のスペースもある。

ゲストハウスで 出会い、交流を広げる

昨年6月には通り向かいにゲストハウス「KITATONO」をオープンさせた。市のチャレンジショップ事業を利用し家賃や資金等の補助を受けた。

人がいかなかったから。そんな人と知り合う機会もなかったからだ。ならば、そんな場所をつくれればいいと柏井さんは考えた。

開業資金は30万円 やってみることが大事

最初の店を出したのは10年前。殿町に小さなバーをつくった。カウンターとテーブルひとつ。15席ほどの店だ。自身もバーで人生を学ぶことが多かったし、酒があつたほうが知り合いもコミュニケーションも広がると考えた。

「そんなに気合を入れた感じでもなかったんですが、とにかくやってみることが大事だ。田舎ではやらない人ばかり。やりたいのに、やらない人が多い。そんな人たちに示したい部分もあつて、資金30万円で開業しました」

開店してわかつたのは一人で飲むという感覚を持った人の少なさだった。二人で来ると話が広がらないし、同じ人といつもつまらないのでは、と柏井さんは思う。会話や出会いを楽しむには一人がいい。一人の方が豊かな時間が持て、会話の質も違ってくる。「だから一人客をひたすら増やそうとしてました」と笑う。その小さなバーの経営を5年間続け、常連も増えてきたところで、昼の店に業態を変えることを決意。やはり殿町の大通り近くの物件を借り、カフェ「Green's Baby」をオープンさせた。

「酒がなくても同じような空間ができれば、もっと面白いのではと考えま

「そもそもゲストハウスはバーとセットにしたかった。地元の人と、県外や海外の人が出会い、交流できれば、いろいろな面白いのではと考えたんです。バーはなくなりましたが、目の前にカフェがあるので、うまくリンクさせていきたい」と見込む。

ゲストハウスは松江城の近くという好立地と、二泊3,000円という手軽さから観光シーズンはほぼ埋まるという。一部屋6人のドミトリタイプの客室が二つ。宿泊客の3割が外国人で、ビジネスマンもよく利用するという。今後は「広げるより、濃くしていきたい」と柏井さん。「手を掛けていない部分がまだあるので、カフェもゲストハウスももっと良い空間にしたい。返済が終わると時間もできると思うので、じっくりとハコの中をどうするか考えることができます。外と内を混ぜる、変化を楽しむ、そんな場所になれるでしょう」と語ってくれた。

Green's Baby
〒690-0887 島根県松江市殿町204 TEL0852-61-3208
【営業時間】11:00~16:00 【定休日】不定休 【駐車場】4台
【FaceBook】 <https://www.facebook.com/greensbaby/>

KITATONO Guest House
〒690-0887 島根県松江市殿町339
TEL0852-23-1539 (受付時間/10:00~18:00)
【Web】 <https://kitatono.com/>